

韓国政府は評価

— 従軍慰安婦 日本政府調査報告書 —

支援団体批判『責任あいまい』

① 9/25

【ソウル4日城内版伸】

日本政府が四日発表した従軍慰安婦問題に関する調査報告書について、韓国政府や与党は、日本政府が慰安婦募集などの際の「強制性」を認め謝罪の意を明らかにしたとして評価、韓日間の懸案が解消されると歓迎している。しかし、関連省の意を明らかにすると同時に、これを歴史の教訓としていくと決意表明した。お時間がかかりそう。韓国外務省は同日午後の発表で「日本政府が慰安婦の募集、移送、管理などにおいて全体的に強制的なものであったと認め、元慰安婦の被害者に対する謝罪と反し、二国間の外交に弾みを

しかし、韓国内の支援団体などは厳しく批判。先月下旬にソウルで行われた慰安婦に対する聞き取り調査に協力した「韓国太平洋戦争犠牲者遺族会」は「日本政府の責任の認定があいまいで不誠実だ」と態度を硬化させており、賠償や責任者の処罰を要求するため、近く日本の検察当局に告発するという。

問題の決着 国民に提案

朝鮮日報

【ソウル4日共同】五日

付韓国各紙は早版で、日本政府の従軍慰安婦問題の追加調査報告書の発表をそれぞれ一面トップで「日本、強制連行認める」などの見出しで伝えた。

中でも有力紙、朝鮮日報は「補償はわれわれがしよう」と題した社説で、日本政府談話は公式謝罪として受け入れられるものと評価し「日本政府の謝罪を契機に、補償はわれわれが引き受け、この恥ずかしい過去を閉じてはどうだろうか?」と、慰安婦問題の決着を国民に提案した。